



【地元企業の技術者等による「匠の技継承講座」I（初回）】

《目的・ねらい》

〔目的〕 地元造船会社の熟練技能者等による実技指導を通して、社会で働く方々の技能の高さを実感するとともに、仕事に取り組む姿勢などを学ぶ。

〔ねらい〕 社会で働く方々の技能の高さを実感し、技能向上への意欲を高める。



《実施内容》

◆ガス切断の実技指導

○日時 平成30年 7月 9日(月) 5・6限目

○場所 今治工業高等学校 機械造船科実習棟

○対象 機械造船科1年生 1班10名

- 取組
- ・ガス切断に関する安全教育・作業要領の説明
 - ・講師による実演・生徒の実技指導
 - ・講師による作品の評価・講評・まとめ
- ※プロパンガス、鋼板12mm等を使用



《講師》

尾鷹 正三 氏 今治造船株式会社

矢原 輝夫 氏 株式会社新来島どっく

《講師の助言》

- ・繰り返し練習することで上達する。
- ・いきなり切断するのではなく、トーチに火を付けていない状態でイメージづくりをしてから作業に入るとよい。



《生徒の感想・学んだこと》

- ・講師の方の手つきがとても慣れていて、きれいに速く切断していたのが印象的でした。
- ・分からないところを丁寧に優しく教えていただき、すごく分かりやすかったです。
- ・ガス切断の難しさを学び、これから練習をしてもっと上手になりたいと思いました。
- ・貴重な体験をありがとうございました。仕事は甘くないと思いました。

《SPH推進アドバイザー岡田さんの助言》

少し厚めの鋼板は、火力調節や切断が難しく、現場の雰囲気を感じられたのではないかと。切断は造船現場の基本で体験することが大事。切断できたときの笑顔が印象的だった。

《成果・今後の課題》

高度な技能を間近で見た後、熱心な指導を受けて、生徒の技能向上への意欲は自然と高まりました。1年生ということもあり、切断の技能はまだですが、今回学んだことを基本に今後も練習を重ね、しっかりとした技能を身に付けていきたいと思えます。

